

# 令和7年4月に 「学びの多様化学校（分教室）」を開設します。

自分とつながる  
人とつながる  
社会とつながる  
未来とつながる

府中市立学校の「学びの多様化学校」では、『つながる』をキーワードに対象の生徒一人一人に応じた学びの充実を図っていきます。

## 「学びの多様化学校」って何？

国が進める学びの多様化学校とは、「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」に基づいた不登校児童・生徒が社会的に自立することを支援する新たな学びの場です。

## 府中市の「学びの多様化学校」ってどんなところ？

不登校生徒の状況に応じて、学校以外の場で行う多様で適切な教育機会を確保する取組の一つとして、特別のカリキュラムを編成し、基礎・基本の定着や体験活動の充実等を図り、生徒の社会的自立を目指していきます。

学びの多様化学校の本校を「府中市立浅間中学校」として、「分教室」を移転後の市立教育センター（旧しみずがおか高齢者在宅サービスセンター）に設置します。学びの多様化学校は、本校の分教室となることから、入室が決定すると、入室する生徒の学籍は浅間中学校となります。

### 自分を見つめる（つながる）

様々な体験的な学習を通して、自分のよさを再認識し、自己肯定感や自尊感情の醸成を目指します。

### 人とつながる

協働的な学習を通して、相手のことを理解したり、相手に自分のことを理解してもらったり、相互理解を図ります。

### 社会的自立

### 社会とつながる

大学や事業所等と連携した学習を通して、社会について知り、自分が何ができるか考えます。

### 未来とつながる

様々な立場の方から話を聞く学習を通して、自己のキャリア形成について考えます。



## 府中市の「学びの多様化学校」の本校及び分教室

**本校** 府中市立浅間中学校

〒183-0001 東京都府中市浅間町1丁目1番地

**分教室** 移設する教育センター（旧しみずがおか高齢者在宅サービスセンター）

〒183-0015 東京都府中市清水が丘1丁目3番地

# よくあるご質問

## どのような生徒が対象となりますか。

市立中学校に在籍している不登校状態にある生徒で、入室に関する事前相談及び体験入室等を行った上で、入退室検討委員会が入室を認めた生徒が対象となります。また、市立中学校に入学予定の小学校第6学年の不登校状態にある児童についても、次年度の入室に向けて入室申請の対象となります。

なお、入退室検討委員会では、不登校児童・生徒の**社会的自立に向けて**、定期的に外出ができたり、生活リズムの改善を図ろうとしていることや、他者とコミュニケーションを図ろうとする意欲があることなどを踏まえ、入室を総合的に判断します。

## どのような教育活動を行うのですか。

不登校生徒の実態に応じた「特別の教育課程」を編成し、教科の学習の充実をはじめ、成就感、達成感を味わう体験活動の充実、学びの多様化学校独自の行事や、関係機関等と連携したキャリア教育の充実を図っていく予定です。

## 学籍はどうなりますか。

府中市の学びの多様化学校は、「府中市立浅間中学校」の分教室となりますので、入室が決定すると「浅間中学校」に在籍することとなります。

浅間中学校以外からの生徒が入室する場合は、転籍の手続きが必要となります。

## 給食はありますか。

分教室で1日を過ごすため、他の府中市立学校と同様に府中市立給食センターで調理した給食を提供します。

## 通学の方法はどうなりますか。

公共交通機関を利用して通学します（通学定期の申請は可能となります）。

## 府中市の不登校や不登校傾向の生徒への支援にはどのようなものがありますか。

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、適応指導教室等の連携など重層的な支援体制を整備し、不登校の未然防止、早期解消、学校復帰に向けた取組を行っています。また、これに加え、令和5年度から、サポートルームを全ての小・中学校に設置し、これまで登校することが難しかった児童・生徒がいつ学校に来ても教職員等が対応できるよう、体制を整備しています。

令和6年5月頃に、学びの多様化学校の説明会を開催する予定です。詳細は、今後発行の「ふちゅうの教育」や「教育委員会ホームページ」でご案内します。